

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	くわの実保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成20年12月9日

総 評	<p>本園は1985年に産休明けからの乳児保育施設として開設した「くわの実共同保育所」として誕生しました。翌年、現在の三宅町に移転し、2003年に園舎を新築して、認可保育園「くわの実保育園」として開園しました。亀岡駅の東南、住宅街に位置しています。地域と一体となった保育園であり、地域との関わりをととても大切にされています。「くわの実保育園だより」を地域に配布し、子育て家庭への情報提供や園庭開放「わくわく広場」、子育て講演会などを開催されています。また、親同士も交流し合う中で子育てをすることで、みんなが「子育てを楽しめる」保育園を目指しています。</p> <p>なお、今回は「共通評価基準」のみ実施しています。</p>
特に良かった点(※)	<p>* 「食べることは生きること」と保育方針に掲げ、園全体で食育に取り組んでいます。園庭には菜園や実のなる木があり、子どもたちが米作りをし、収穫物を使って調理するなど、食育を積極的に取り入れた保育が進められています。</p> <p>* 園の雰囲気も良く、明るく開放的な室内で子ども達が生きいきと過ごす姿と、職員の対応も丁寧にされていて、とても気持ち良いものでした。</p> <p>* 職員一人ひとりの表情が明るく、楽しく仕事（保育）をされている様子が伺えました。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>* 職員間の連携は取れており、インターネット等による情報公開もされていますので、「保護者の声・職員の気づき」などの意見や報告を保護者に分かりやすくフィードバックするための取組をされるとなお良いでしょう。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	くわの実保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年12月9日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	C	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・ 理念・基本方針が明文化され、職員へも職員会議や研修などを通して周知・理解するように努めています。
- ・ 保護者や地域の方々へも、入園のしおりやホームページによる園情報を開示し、園の様子などを知らせています。
- ・ 事業計画は、理念に基づき策定されています。職員からの意見を聞くための会議が行われ、園全体として事業計画の策定に取り組んでいます。今後は利用者へも分かりやすく説明する等の取り組みをされるとなお良いでしょう。
- ・ 管理者の役割は運営規程の中で明記され、職員に対しても職員会議等で管理者の責任を明確に表明されています。
- ・ 行政からの法令等を職員間で回覧される等、周知に向けて取り組みをされるとなお良いでしょう。
- ・ 管理者と職員は、月2回職員運営会議を開催して保育サービスの質の向上に努められており、利用者からの意見は記録し職員間で情報として共有されています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	C	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	A	

【自由記述欄】

- ・ 亀岡市の人口動向などの資料を作成され、また、園庭開放「わくわくひろば」を月に1～2回開催し、地域の保育ニーズの情報収集に努められています。
- ・ 保護者が安心して子どもを預けることができる保育体制を整えるための職員配置はされていますが、組織としての具体的なプランを明示するとお良いでしょう。
- ・ 人事考課は行われていませんが、職員の就業の状況や意向を把握するため、職員アンケートを実施し、園長、主任との面談を行い、職員の状況や意向を反映させています。また、職員の悩みや相談の受け入れは、園長、主任だけでなく副主任にも相談できるよう体制が整えられています。
- ・ 職員の研修に関しては、新任研修、5年目研修と行い、また、園全体での園内研修が実施されています。職員は職員アンケートにより希望する研修を受ける事ができます。研修は報告レポートが作成され、職員会議において全職員に報告されています。今後、研修計画を作成し、研修の成果を研修計画に反映されるとお良いでしょう。
- ・ 園児の安全を確保するため、安全管理マニュアルが作成され、職員会議等で全職員に周知されています。また、必要な事項については職員運営委員会で報告され検討されています。園児の安全のためのリスクを把握する方法として、遊具の定期点検を行い記録されています。小さなケガやヒヤリとしたことは「保護者の声・職員の気づき」に記入し、全職員に周知され、事故を未然に防ぐ対策がとられています。また、社会で起きた事例など情報を収集し、職員に周知するなど安全に対する意識を高く持たれています。

【共通評価基準 評価結果対比シート】

- ・大学生や短大生の保育ボランティアを積極的に受け入れられています。また、イベント時には中学生ボランティア(卒園児)を受け入れています。ボランティアの受け入れの意義、諸注意などはマニュアルに添ってオリエンテーションで説明されています。
- ・亀岡市東部子育てネットワークに参加し、子育てに関する情報の共有や連携を取り、地域の福祉ニーズの把握に努められています。また、ニーズに基づいた事業や計画は事業計画に反映されています。
- ・虐待を受けていると疑われる子どもがあった場合の保護者対応や児童相談所など、関係機関との連携体制を整備されるとなおります。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

- ・利用者のプライバシー保護について規定は作成されていますが、保護者とのやりとりについては、プライバシーに配慮されると尚良いでしょう。
- ・苦情解決の仕組みについては、保護者への周知も徹底されています。苦情についての検討内容や対応策・苦情の具体的内容及び解決結果等は保護者へ公表・フィードバックするとなお良いでしょう
- ・質の向上に向けた取組を保育園内で組織的にされていました。組織としての課題や評価を明確にし、改善計画を作成し、見直しを図られるとなお良いでしょう
- ・個々のサービスの実施方法については、新任研修で取り組まれています。マニュアル等を作成し取り組まれるとなお良いでしょう。
- ・記録管理の責任者が設置され守秘義務の遵守を職員に周知されています。個人情報保護・情報開示についての規定を整備されるとなお良いでしょう。
- ・卒園後の園児とも交流をされています。卒園・転園時に保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、文書を渡されるとなお良いでしょう。